

第2回農業・農村・地域活性化セミナー

慶應義塾大学大学院 SDM 研究科附属 SDM 研究所農都共生ラボ・地域活性ラボの主催で、9月30日、「第2回 農業・農村・地域活性化セミナー」が、横浜市慶應日吉キャンパスにおいて開催された。全国各地から、研究者や地域活性化に携わる方達など、募集定員の100名を超える参加者があり、熱気に包まれた。

今回のテーマは「双方向で活性化する 地域ブランディングの効果的な進め方」。講師は中島聞多特別招聘教授(事業構想大学院大学教授)と、林美香子特任教授(北海道大学大学院農学研究院客員教授)。中嶋教授は地域ブランディングや地域ブランド戦略について、長野県小布施町や徳島県神山町などの成功例とともに講演。林特任教授は、農都共生(農村と都市の共生)をテーマにしたフィールドワークをもとに、全国各地で取り組まれている地域コミュニティビジネスのブランド化について講演し、その後、活発な質疑応答が続いた。また、終了後の懇親会には、50名を超える参加があり、地域活性をテーマに交流を深めた。

政府の重要方針「地方創生」に代表されるように、地域活性はとりわけ関心の高いテーマ。来年春に3回目のセミナーを開催し、さらに深く掘り下げていく予定である。



盛況だったセミナーの様